



農村伝道神学校後援会だより NO. 125

余白のキリスト

別府野口教会牧師 吉武 二郎 (第37回卒)

高校時代、よく授業中に雑談して2人して先生に叱られた友人は、ノートの「余白」に度々、松本零士の「宇宙戦艦ヤマト」の絵を緻密に描いていた。卒業後は互いに所在不明であったが数年前、Facebookで再会した。彼はあれから美大を出てプラモデルのデザインで独創的な活躍をし、現在は大学でも講義している。そうかあ、彼は本流というよりも、変わらずノートの「余白」を見つめ続けてきたのだなと思った。

農場の紅葉を透明水彩で描いたことがあった。奥羽教区にいたころ、巡回販売で善隣館書店の佐々木さんが売ってくださり、見知らぬどなたかが買ってしまったのだ。初めて絵が売れてありがたかった。白の表現、油絵との違いは興味深い。色を重ねて空白を埋めるように言葉を重ねて本質に近づこうとするヨーロッパ経由の神学と、水墨画や透明水彩のように敢えて空白を残すことを通して白を表現し、本質に迫ろうとするような東洋的な神学の可能性がいつも心にあった。「空白」の中で、虚心になってキリストに出会うこと。

農伝の春、あちこちに野草が独自の花を咲かせていたのを思い出す。礼拝堂を出たところ、運動場との境に毎年イカリソウが白い可憐な花を咲かせていた。思い返すとぼんやりとであるが、やがて遣わされた地に錨を降ろすように、自分は低血圧だからかもしれないが、動物的というより植物のようにじっと地域に根を降ろす牧師になりたいと願っていた。

それは、今は天に召された国安、柏井両校長のご苦勞された時代であり、「本校の使命」として「農の視点」に拘った神学校の歩みも、世のメジャーよりもマイナーへの視点だった。「伝道圏伝道」構想は、都市に偏った伝道姿勢から、キリストに促されて世の「余白」へと心に向けることかもしれない。学生自治会でのシンドイ議論、寮での楽しいドロドロした会話、農場の土の感触などの日々の中、学生たちもそんな視点がどこか心に引っかかっている、そんなかけがえのない日々だった。

神学校卒業以来、週毎に自分の無力感と直面し、それゆえに聖霊の助けをひたすら祈りつつ説教を

語ってきたように思う。人の言葉がいかにかの神の言葉になり得るか、との神学校での学びがいつも胸にあった。自分の中には空のコップのように何も無い、神からの聖霊の介入をひたすら祈るしかない。神学校時代の奉仕教会では、教会学校から始まる日曜日の朝になると神経性の腹痛に悩まされてきたが、不思議なことに説教中にそのために中座することはこの35年間で一度もなかったのである。神は意地悪なだけで人に召命を与えてきたわけではないのだと今にして思う。

10年ほど前に脳の機能がエラーを起こした。平常時であるのに緊急時の反応をしてしまう扁桃体の誤作動が原因で、SSRIの薬を数か月のんだ。パニック障害だった。乗り物に乗れない、一人であることができないなど。いろんな仕事や心配を抱えた時期でもあった。それ自体は長く苦しい「空白」の日々であったが、そのことがなければ教会に来られる方々、特に精神的な重荷を持つ方々への共感希薄なままであつたらうと思う。苦しさの中で俳句を詠むという出会いもあった。神さまの不思議な計らいに一本取られた。

中学生が信仰告白し、高校生が、80歳を前にした高齢の方が、死を前にしている方が病床にて洗礼を志す、そんな人の業とは思えない神の出来事に遭遇することが、牧会の中で起こってくる。16年間、宗教教誨師をさせていただいたが、個人教誨で共に祈った方々で、出所後に2人の方が地域の教会に導かれ洗礼を受けられた。人の生と死に関わる中でそんなカイロスが起こる。牧師冥利に尽きる、と言えいいだろうか。

学生時代からギターがそばにある。日本製の相棒はYAMAKIの総単板で、もう40年以上の付き合いになる。これにはD'Addarioのphosphor bronze弦を張って、繊細な伸びのある膨やかな音色がする。伊勢正三や中川イサトが弾きたくなる。本家のマーチンやギブソンに負けない音がする、と言ってみよう。

山茶花の白は日暮れに残りけり



ある日の、こども礼拝にて。

神学校とコラボする

後援会実務委員 夏梅文和



半世紀前、神学校の先生方が設立した教会で洗礼を受けた。今日、某私立高校退職後、パン屋開業もボロボロになって廃業。健康回復のためにあの有名な永平寺の修行僧を気に入り、「ここには国宝と呼ばれる仏像はありません。お寺の宝は雑巾で磨かれた僧坊です」と言って神学校へ押しかけた。これが最初のコラボだった。ボランティア活動も今年で3年目に入るが、昨年、後援会の実務会から声をかけられて活動の幅と人のつながりが広がった。

さて、本題に入りたい。奉仕を通して気づいた神学校の魅力を語りたい。本館前の道路には早朝から行き来する人たちを見かける。通学中の高校生から散歩を楽しんでいるお年寄りたちである。とにかく四季折々の自然の豊かさに気づかされた。しかも周囲は町田市によって自然公園と散策路が整備されている。本館から農場を見渡す風景はどことなく山の村といった味わいがある。せつかくここを訪れたら山の

幸を堪能したい。菜の花畑の近くに竹林がある。春先はタケノコ掘りにアタック。秋は栗拾いや銀杏拾い(写真)、柿の実など果樹の収穫体験を、大人も子供さんも一緒に楽しみたい。その折、事務室に予約をしてくださいネ。

神学校の学びは最高のコラボです。短期集中講義、半期や通年の聴講がある。昨年前期のこと、コロナの影響で教室は開放状態となり、清掃中に漏れ聞こえる「天地の神」・「天地のつくり主なる神」の講義には驚かされ、日本の讚美歌にまつわる課題に気づかされた。旧約聖書概論は正規に聴講。「歴史の中に埋もれていくような小さな存在に光を当てていくのが神である」と学術的な研究をふまえた学び、大いに脳が刺激され、健康回復の処方箋となった。

わたくしは教会内外の人たちが神学校にたくさん訪れる「農伝ランド」になるというまぼろしを抱いている。一度訪ねてみてください。「ロブさん」の愛称で親しまれているウイットマー校長先生のお顔と体形は絵本から飛び出してきたサンタクロースそのままのイメージ(あくまでも個人の感想)ですよ。神学校とコラボすることによって新しい自分を見つけてください。



ムジカ・フェリチタのバロック音楽コンサートを開催して
 農村伝道神学校 70 周年の昨年度に、まぶね教会での記念支援コンサートを計画。
 コロナ禍で延期となった再開催で、林巖雄牧師はじめ、多くの皆さまから大きく支えられました。

2021年3月13日、コロナ禍でありながら、まぶね教会での農村伝道神学校支援コンサート(写真)では多くの皆さまに支えられ、開催できたことに感謝いたします。ムジカ・フェリチタは、毎年春に荻窪教会でバロック音楽のコンサートを開催させていただいております。そのご縁で、農村伝道神学校支援コンサートで演奏させていただいておりますが、少しでも多くの方々と音楽の楽しさを共有し、心の輪を繋いでいけたらいいな、と思っています。その思いが農村伝道神学校支援の一端を担えれば幸いです。

まぶね教会でのコンサートは、昨年年第1回緊急事態宣言が発令され、荻窪教会での春のバロック・コンサートが中止になって以来の再活動でした。中止となってしまったコンサートは、ムジカ・フェリチタ5周年ということで、いつもより大きな編成で賑やかなコンサートになる予定でした。まぶね教会での再活動を機に、5月4日に荻窪教会でコンサートを予定していましたが、残念なことにまたもや緊急事態宣言の発令によって延期になってしまいました。まだまだ世の中不安定な状態でこの先が見えませんが、7月23日にコンサート(荻窪教会)を予定しております。どうぞ皆さま、ご都合が合いましたら足をお運びください。私たちの音楽活動はささやかなものですが、ムジカ(音楽)・フェリチタ(喜び)の名前のおり、皆さまと音楽を喜び合えるひと時を共に過ごすことができましたらうれしいです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(ムジカ・フェリチタ 星野知子)



農伝の四季のお茶作り

上杉理絵（第69回卒業生）

農伝のお茶づくりをしています。蒔くことや育てることをしなくても、その季節になると生え出でる野草や木の葉を採取して、お茶にさせていただくことができます。

●桑の葉は、5月ごろに若葉を採取します。虫がついていることがあるので、水で丁寧に洗って、乾燥させます。葉が薄いので早く乾燥します。桑の葉茶は、カルシウム、鉄分、ビタミン、ミネラル、食物繊維を多く含みます。

●農伝にはイチヨウの木がたくさんあります。青々としたイチヨウの葉を採り、洗って乾燥させます。イチヨウの葉は油分が多く、洗うとサッと水が切れて楽なのですが、乾燥させるのに少し時間がかかります。イチヨウのエキスには脳機能を改善する効果があるとされています。仕事や勉強で脳を酷使する人にもオススメです。

●ビワの葉は、一年中青々としていますので、いつでもお茶を作ることができます。なるべく古い葉を摘みます。タワシなどで葉の裏の毛をゴシゴシと洗い落とします（写真上）。そのまま乾かしてもいいですが、切ってからの方が早く乾きます。ビワの木は薬草薬木の王様ともいわれ、たくさんの効能があります。急須でもよいですが、煮出して飲むと美味しいです。このお茶をお風呂に入れて、皮膚によいビワの葉風呂もできます。

●野草茶は何種類かブレンドするととても美味しく、ほうじ茶と合わせても飲みやすいです。

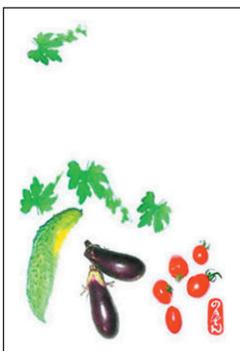
こうやって書くと簡単なようですが、木から枝ごと葉を切り落としたり、枝から葉を外したり、虫がついているか確認して、洗って、何度もすすいで、水を切って、乾かす場所を確保したり（写真中央）、乾燥のムラがないように上下をかえしたり、乾燥したものを湿気ないように保管したり、たくさんの作業があります。それでも、何人かで手を動かしながら作業をしていると、普段はしないようないろいろな話ができるのも楽しいです。いつか「農伝の野草木茶作りの会」なんてできたらうれしいです。



手作りの野草木茶、一袋 300円。

農伝の暑中見舞いはがきはいかがでしょう

* カラーはがきです！



左から、①アジサイ、②四つ葉のクローバーとイナゴ、③ゴーヤとナスとミニトマト。はがきは一部です。ご希望の方には〈農伝はがき夏リスト〉を郵送します。4ページの奥付・後援会宛てにお申し込みください。

2020年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2021年2月16日～2021年5月15日()内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金 (団体)		後援会献金 (個人)		水谷 淳		三軒茶屋教会		大久保徹夫		森 節子	
厚木上教会	10,000	浅野 直人	5,000	元木 良子	30,000	下谷教会	20,000	大久保洋子	10,000	山川 恵子	10,000
尼崎教会	3,000	飯野真理子	5,000	森野善右衛門	5,000	石神井教会	11,600	小川安生・ユミ	3,000	山田 早苗	10,000
岩槻教会	10,000	池迫 嗣子	3,000	保田 茂	3,000	新丸子教会	5,000	鏡 清美	5,000	山田 裕	2,000
大分教会	5,000	伊藤 武子	30,000	大和 茂	5,000	捜真女学校中学部高	5,000	狩野美名子	3,000	山田美知子	5,000
岡山教会	20,000	井上したふ	3,000	吉川 静野	5,000	等学部	15,000	鐘ヶ江晴彦	10,000	和田 献一	10,000
荻窪教会ラオス会	5,000	岩高 澄	30,000	ロバート&圭子ウイッ	5,000	宝塚教会	5,000	樺澤 幸雄	3,000	渡辺 重義	10,000
		大嶋 香織	3,000	トマー	30,000(3)	茅ヶ崎恵泉教会		木下 良子	5,000	匿名3	1,000
草津教会	3,000	尾毛佳靖子	5,000	渡辺志津枝	48,500		10,000	桑畑 祥生	3,000	合計 47件	
串木野教会	5,000	折茂由紀子	500	匿名1	5,000	手作りボランティア		小林利明・恒子		金額	360,000
国分教会	10,000	貝塚夕紀代	5,000	匿名2	20,000	吾亦紅	10,000		10,000		
国分寺教会	10,000	梶山 順子	10,000	合計 46件		土佐教会	5,000	近藤 晶子	1,000	ひとつぶ献金	
シオン幼稚園そら保	1,588	鐘ヶ江晴彦	5,000	金額	562,070	名寄教会	3,000	近藤恵・華子	5,000	生田教会	51,100
護者一同	1,588	川島 堅二	10,000	記念日他献金 (団体)		沼津岳南教会	5,000	斉藤小百合	5,000	荻窪教会	46,100
信濃町教会聖和会	10,000	川谷 恵子	5,000	青山学院高等部		東長崎ウエスレー教会	5,000	坂本 梅子	10,000	上大岡教会	21,000
	10,000	小池 健治	5,000	福岡女学院教会	5,000			佐藤 謙吉	10,000	軽井沢追分教会	
信濃町教会婦人会ぶ	30,000	河野 通久	3,000	船越教会	20,000	幕張教会	10,000	佐藤 節男	10,000		11,400
どうの会	30,000	小林 牧子	3,000	本所緑星教会	10,000	松本教会	10,000	吉田 光子	10,000	川和教会	30,000
逗子教会	20,000	佐々木良健	10,000	大和教会	5,000	代々木上原教会	20,000	高倉 謙次	5,000	世真留教会	25,200
田浦教会	10,000	佐竹 順子	3,000	竜ヶ崎教会	17,000	六角橋教会	30,000	田中 義信	3,000	鶴川北教会	55,200
高の原教会	5,000	島しづ子	150,000	弓町本郷教会	5,000	合計 39件		張連淑・郭鐘洙		鶴川教会	45,600
玉出教会	20,000	白木 梅子	3,000	代々木上原教会		金額	397,600	月本 昭男	5,000	東梅田教会	28,000
名古屋中央教会	15,000	酢屋 善元	2,000	大泉教会	10,000			土屋 容子	2,000	日野台教会	17,000
那須塩原教会	6,000	外谷 悦夫	10,000	隠岐教会	4,000	竜ヶ崎教会	17,000	豊田 江美	100,000	松本筑摩野伝道所	10,000
西片町教会	30,000	玉那覇正信	1,070	荻窪教会	10,000	六角橋教会	30,000	中屋敷恵美子	3,000	まぶね教会	9,000
日野台教会	30,000	戸井 雄二	2,000	奥沢教会	10,000	合計 39件		西崎 和義	3,000	水元教会	10,000
マドカ工務所	10,000	西村保興子	15,000	小田原教会	20,000	金額	397,600	野崎 典子	5,000	横浜二ツ橋教会	
溝ノ口教会	20,000	服部 栄	5,000	金沢八景教会	5,000			八田満千子	1,000		24,100
翠ヶ丘教会	3,000	原 誠	2,000	川和教会	20,000	記念日他献金 (個人)		福居 幸子	5,000	竜ヶ崎教会	20,700
明治学院中学校東村	28,000	比企 敦子	10,000	久留米東町教会		石井 光子	5,000	星 和夫	3,000	若松栄町教会	5,000
山高等学校	28,000	藤林 和美	5,000	高座渋谷教会	5,000	石橋光朗	2,000	星野 浩子	5,000	合計 17件	
安岡教会	5,000	星野正興・美雪	20,000	郡山教会	5,000	井前史生・和代	10,000	前田 紀子	5,000	金額	409,400
洛西教会	5,000	堀口美都穂	2,000	小倉日明教会	2,000	犬養 光博	3,000	牧野 信次	10,000	2020年12月23日	
合計 27件		馬淵由季子	25,000	西条栄光教会	5,000			松田弘子・美子	10,000(2)	記念日他献金	
金額	329,588							三原 仁子	10,000	三元建設	50,000

2020年度農村伝道神学校後援会会計報告

2020年4月1日～2021年3月31日現在

収入の部 (単位: 円)					支出の部 (単位: 円)		
費 目	2020年度		前年度		費 目	2020年度	前年度
	件数	金額(円)	件数	金額(円)			
後援会費(団体)	77	1,166,838	80	1,482,857	神学校献金	10,000,451	7,000,000
〃(個人)	217	3,860,138	184	1,493,000	通信費	402,327	505,621
記念日献金(団体)	276	2,878,436	277	3,167,703	印刷費	472,600	558,714
〃(個人)	298	1,877,966	219	1,400,500	事務費	509,566	664,072
ひとつぶ献金	35	1,167,000	35	1,270,200	グッズ材料費	49,963	68,641
コンサート		97,255		0	その他	0	3,000
グッズ		305,218		282,660	振替手数料	142,026	133,234
繰越金		224,142		60,504	繰越金	60	224,142
合 計	903	11,576,993	795	9,157,424	合 計	11,576,993	9,157,424

事務局だより

2020年度は「新型コロナ禍」で何度も「緊急事態宣言」が出された大変な1年でした。皆さんの教会もさぞかし大変だったことでしょう。にもかかわらず、農村伝道神学校支援の為にこれまで以上の後援会献金をお送りいただき、神学校に1000万451円を送ることができました。後援会で「年間1000万」の目標予算を達成できたのは、2015年以来5年ぶりのこととなります。200万円の大口の励まし献金も大きかったのですが、「ひとつぶ献金」の広がりや、農伝グッズ(新作が増えてきていますので、そろそろ新しいリストを作る予定。ホームページやFacebookでも掲載し注文できるようにします)の売り上げ、「3密」に注意しながら開いた支援コンサートの予想以上の盛り上がり、新しい後援会実務委員の大活躍……等のおかげです。21年度も「コロナ禍」が続いていますので、21年度目標額は少し抑えて850万円で予算を立てていますが、できれば、今年も1000万円いきたいですね。お祈りとご支援よろしくお祈りします。 実務委員 小海 基

発行 農村伝道神学校後援会
 会長 島 しづ子
 事務局長 長谷川りゑ子
 〒195-0063 東京都町田市野津町 2024
 TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711
 Eメール: kouenkai@noden.ac.jp
 ホームページ: https://noden.ac.jp/
 振替番号 00120-6-24418